

技術創造を続けるグローバル企業として 安心・安全・快適な社会の維持と 発展に貢献します

2013年8月の株主総会后、新たに会長に就任した土田洋、社長に就任した寺島憲造より、今後の取り組みについてご説明いたします。

当社は、2013年5月期からスタートした3か年中期経営計画「ダッシュ2015」のなかで、2015年5月期における売上高520億円、海外売上高比率50%（260億円）以上、営業利益36億円（営業利益率7%）、経常利益36億円、当期純利益18億円、ROE8%以上の達成を目標に掲げています。いわゆるアベノミクス効果による景気回復が期待される環境において、当社はこれらを実現するため、交通事業・産業事業における海外展開のさらなる推進を図り、利益面では、特に産業事業の黒字化を達成してまいります。

2014年5月期は、国内鉄道市場の更新需要が回復に転じ、海外においても、前述のロサンゼルスLRV向け電機品の出荷開始に加え、中国市場の堅調を背景に高速鉄道案件および地下鉄案件を獲得していることから、交通事業については順調な売上拡大が期待できます。海外における営業活動では、引き続き中国と北米を重点ターゲットとしつつ、2012年8月に設置したインド・デリー駐在員事務所を中心に、インドおよび東南

アジア市場への布石も打っていきます。

産業事業では、自動車開発用試験機向けの大幅な受注拡大とともに、国内経済の好転による設備投資の回復も見込んでいます。また、生産設備向けモーター・インバータの東南アジア展開を強化すべく、2014年5月期中にタイなど東南アジア圏に駐在員事務所を設置する予定です。一方、2012年夏ごろからは建設機械向けモーター・インバータの展開も本格化しています。これらの取り組みにより、今期は産業事業の黒字転換を果たしていく考えです。

情報機器事業は、車掌用携帯端末の展開を通じて得た顧客の拡がりを活かし、駅務関連機器の消費税改定対応における需要を積極的に取り込んでいきます。

以上により、3事業セグメントともに事業拡大を図り、企業価値の向上をめざすのはもちろんのこと、技術革新への飽くなき挑戦を続け、高い品質の製品とサービスを提供していくことで、安心・安全・快適な社会の維持と発展に常に貢献できる企業でありたいと考えています。

ステークホルダーの皆様には今後とも当社の事業にご理解を賜りますようお願いいたします。

■長期ビジョン

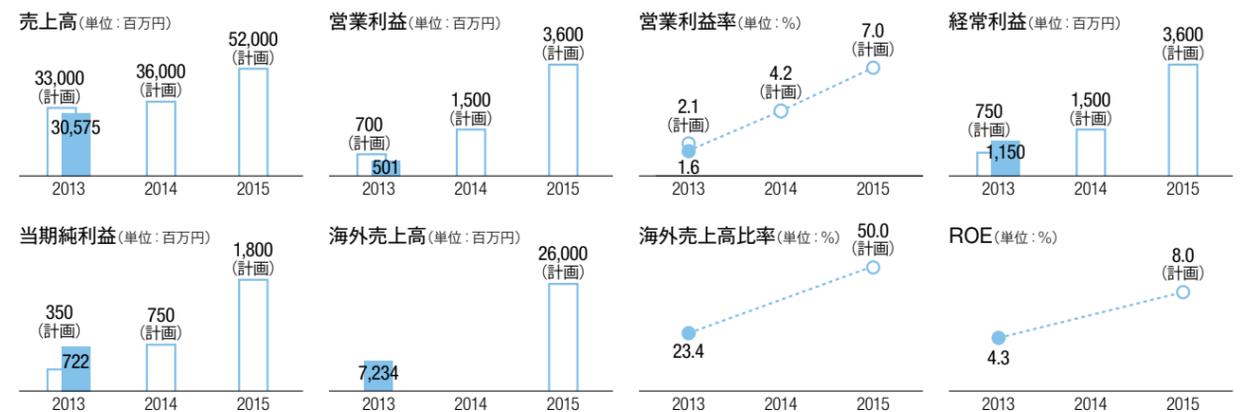
創業以来の卓越したモータードライブ技術と躍進する先端技術を融合し、グローバルな事業展開を通じて環境適合型社会の実現に貢献してまいります。

■中期経営計画「ダッシュ2015」について

当社は2012年6月から3か年中期経営計画「ダッシュ2015」をスタートさせました。海外事業の拡大を主軸にさらなる成長性の確保を進めてまいります。



■中期経営計画「ダッシュ2015」の進捗状況と計画について



代表取締役社長
寺島 憲造



代表取締役会長
土田 洋

